

第3回基山町総合計画審議会

日 時：令和3年2月2日（火）14:00～14:40

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：16名

森田昌嗣会長、濱崎裕子副会長、

田口英信、原憲一、末吉正夫、宮本浩子、藤丸信一、内山哲夫、神原玄應、

水田久男、鳥飼雅幸、日高紀子、池浦茂樹、山田和彦、白石善博、森禎久

欠席委員：2名

大草昭雄、津川典善

事務局：3名 総務企画課 熊本課長、原係長、則本

傍聴者：なし

1 開会

2 議事録の署名人選出

3 議事

(1) 第2回審議会までの意見について

(2) 答申について

(3) その他

1 開会

(事務局)

皆様、こんにちは。

本日は、大変お忙しい中、第3回基山町総合計画審議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の第3回審議会につきましては、これまでの審議会でご頂戴いたしました御意見の振り返りと、前回審議会までにまだ御意見いただけていない分がございましたら、今回頂戴できればと思います。

また、本日の審議会において、基山町長から基山町総合計画審議会に対して諮問させていただいておりました、第5次基山町総合計画に関する事項について、審議会の御意見を取りまとめいただき、基山町長に対し答申をお願いできればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは、レジメに従いまして、森田会長に進行をお願いしたいと思います。

よろしくをお願いいたします。

(森田会長)

今日は、124年ぶりの2月2日の節分ということで記念すべき日かなと思います。

2 議事録の署名人選出

(森田会長)

それでは、議事録の署名につきまして、基山町の総合計画審議会条例により、この審議会の議事録を作成することになっており、その議事録の署名については、会長及び委員の中から2名が署名をすることになっております。

会長と、あと2名選出ということですが、私の方から御指名をさせていただいてもよろしいでしょうか。

[異議無しという声あり]

はい。それでは1名は濱崎副会長にお願いしたいと思います。それから、もう1名は、名簿順で商工会長の田口さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

第2回議事録を事務局から今回の会議前に送付されておりましたが、特に問題はなかったでしょうか。

無いようでしたら、後ほど署名させていただきたいと思います。

3 議事

(1) 第2回審議会までの意見について

(森田会長)

議題（１）の第２回審議会までの意見について、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）

前回までの御意見につきましては、会議録のとおりですが、第５次基山町総合計画中間検証報告書及び第５次基山町総合計画中間検証による見直し案に対する御意見としまして、１点目にコミュニティバスについて、利用者が少ないため、もっと利用促進を図る必要があるのではないかと、２点目に満足度調査結果は、政策のヒントになり、今後の施策に生かせるのではないかと、３点目にコロナ禍の中ではあるが、地域活性化に繋がるような取組、支援、イベントを実施することが必要ではないかと、４点目に基山を象徴するような史跡の他にも、地域の埋もれてしまおうとしている文化財の保護も必要ではないかと。また、文化財資料の集約も必要ではないかと、５点目に外国人観光客のための対応も今後必要になってくるのではないかと、６点目に町民や町内企業への有益な情報の発信や情報開示を積極的に行っていく必要ではないかと、７点目に貧困や孤独死をなくすための対策が必要ではないかと、８点目に少子高齢化に対する人口減少への対策は必要で、町外者のニーズを把握し、積極的な取組が必要ではないかと、９点目に施策の評価について、的確に評価できる指標設定が必要ではないかと、１０点目に災害時支援や高齢者支援のため、地域での見守りは非常に重要で、自治会加入率は年々減少傾向で、自治体の課題となってきている現状があるのではないかと、といった御意見をいただきました。前回までの御意見で、まだ御意見いただいていない点がありましたら今回お願いしたいと思います。説明は以上となります。よろしくをお願いいたします。

（森田会長）

只今事務局より説明がありましたが、御質問、御意見、また、新たな点についての御意見はないでしょうか。

（原委員）

町道の維持管理について、町民の参画があったらごみ袋を支援するのをマスコミで流れたと思いますが、少し説明をしてもらえますか。

（事務局）

アダプトプログラムは、道路の里親制度で、地域の道路については、地域の住民の方や関係される方に登録をしていただいて、登録していただいた方に掃除道具の提供であったり、あとボランティアをしていただいている間に事故があってははいけませんので、傷害保険の加入を町でさせていただいて、地域の方に掃除をしていただいているのが始まりで、現在では近くの公園であったり登録をしていただいて掃除をしていただいている方もいらっしゃいます。掃除までいかななくても、ごみを拾っていただいている方もいます。今年度からは、草刈り機を使う必要がある場所もあるということで、草刈り機の刃を年間１枚程度だったと思いますが、提供をさせていただいて、地域の道路等の環境美化に努めていただいております。

(水田委員)

保険にも一緒に入っているんですね。

(事務局)

ボランティア保険の方に、加入させていただいておりまして、手続きと加入金の負担は町で行っております。

(原委員)

いい取組であるし、周知をもっとしていただきたいと思います。自分の家に入る町道ですので、関係するところは掃除を行います。高齡化が進む中では、隣近所お互い協力しながら、落ち葉や紙くず、ビニール類の掃除を行い、維持管理を行っておりますが、登録をすれば、ごみ袋が支給されることをあまり知りませんでしたので、周知をぜひいただいて、登録を簡単に、また自治会での登録についての支給も御検討いただきたいのが1点と、高齡化で自分の屋敷、自分の田畑のお世話ができない方の管理を周りがしてやっているのを、中にはそういう意識を持たない方々、私が経験した分では、お世話をかけてありがとうという言い方ではなくて、御苦労様というような言い方をされるとかちんとくるところがあるんですね。できないのは仕方ないですが、周りがやるのが当たり前だという意識がなければ、自分の周りのごみをださない、あるいは荒らさないという意識に繋がってくる。そこを意識的に行政の方から、なかなか近隣の方からは、毎年お宅の土地の木から秋には落ち葉が落ちてきて、放置されていて、ごみ袋10杯も20杯もなるとは面と向かっては言いにくいところがありますので、自分の分はしっかり管理をしながら、そして助けあいの部分では皆でやっていこうという二段構えでやっていった方が、ボランティア、先程のアダプトプログラムですかね、よりいい取組になっていくと思いますので、啓蒙と一緒に進めていただければと思います。

(森田会長)

はい。他にはいかがでしょうか。

(宮本委員)

私はけやき台に住んでいるのですが、基山の土地活用というところで、けやき台3丁目について、1棟空き地のままで、放置されているように見えるのですが、今後どのように活用されるか計画はあるのでしょうか。

(事務局)

その部分につきましては、そもそもが、ディベロッパーの方の所有でありまして、どうされていくかはっきりしている訳ではありませんが、伺っている話の中では、ディベロッパー側としては、マンション需要が非常に落ち込んでいる状況の中では、今残っている分については宅地として分譲したいということで考えてあるようでして、そもそもマンションが売買される時が、建物の底地の部分が、区分共有とあって、自分の部屋の大きさの割合によって持ち分があるのですが、あそこの場合が1棟ごとに持ち分を決め

てらっしゃらなくて、最終的に全部建てられたところで区分共有割合を決めてありましたので、それを変更するのに全員の方の同意が必要となってくるそうです。なかなか全員の同意まで至っていないというところで、ディベロッパー側で御努力されているということで、開発者側も早く宅地なりで進めていきたいという御努力はされているようです。

(宮本委員)

若基小校区の児童数が減ってきておりますので、マンションが建てばと思ったものでどんな風になっているかお尋ねいたしました。

(事務局)

別の話になりますが、マンション需要とうことから考えれば、旧高尾病院があったところに、マンションが建てられて、順調に売買が進むようでしたら、旭化成のディベロッパーもお考えになる部分もあるのかなと思いつつ、そちらの売れ行きそのものがどうなのかというところを注視しているところではあります。

(森田会長)

はい。他にはいかがでしょうか。

3 議事

(2) 答申について

(森田会長)

それでは、議題(2)答申について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

前回及び今回までの審議会におきまして、様々な御意見を頂戴しております。いただいた御意見を基に、答申素案を作成しております。読み上げて説明に代えさせていただきます。

(読み上げ)

(森田会長)

只今事務局より説明がありましたが、御質問、御意見はないでしょうか。

(末吉委員)

(7)について、ここの項目だけ、課題として認識されたいということは、それだけ重要ですよという意味で表現されたのか参考までにお聞かせください。

(事務局)

おっしゃられたような認識のもので、まちづくりをやっていく中では、地域コミュニ

ティは非常に重要な部分でもありますので、その根幹をなす部分での認識をさせていただくということで表現を変えさせていただいております。

(末吉委員)

はい。

(森田会長)

それでは、事務局より説明のあった答申素案の内容で、第5次基山町総合計画に関する諮問に対する、答申としてよろしいでしょうか。

[異議無しという声あり]

(森田会長)

それでは、異議無しということですので、これで答申したいと思います。どうもありがとうございました。

(事務局)

どうもありがとうございました。それでは、答申が固まりましたので、森田会長より町長へお渡しいただけたらと思います。

町長を呼んできますので、少々お待ちください。

(事務局)

お待たせいたしました。それでは、森田会長より町長への答申をお願いいたします。

(森田会長)

※答申書の読み上げ

[森田会長から町長に答申書の手渡し]

(町長)

一言お礼申し上げます。森田会長をはじめ、審議会の委員の皆様方にはお忙しい中、基山町総合計画の検証につきまして、色々な御意見をいただき、また、今後の基山町総合計画の後半に向けた新たな示唆をいただいたことに心よりお礼申し上げます。今、役場の中でもワクチン接種対応について、マスコミでは国が決めていないので自治体も困っていると報道されていますが、困っている自治体はやる気のない自治体であって、やる気のある自治体は今の情報だけでも、大変な準備等の作業がスタートしている状況でありますので、この中にも書いていただいておりますが、コロナ対策ばかりやっていくわけにもいきませんので、上手に共存していきながら、基山町が発展していきますようにこれから総合計画に基づきまして、また、力をふり絞ってオール基山で頑張っていきたいと考えておりますので、森田会長はじめ、委員の皆様には今後とも御支援御鞭撻よろしくをお願いいたします。今日は本当にありがとうございました。

(事務局)

本日まで3回にわたり、熱心な御審議ありがとうございました。お陰様で、大変すばらしい答申をいただきました。今後基山町総合計画の推進に向けて更に努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、閉会を森田会長の方からお願いいたします。

(森田会長)

皆様どうもお疲れさまでした。時間的な制約があるなか、百パーセント満足いくものではなかったかもしれませんが、委員の方々の熱心な御発言や御意見を多くいただきまして、基山町の現状と将来について深く議論できたのではないかと思います。今、答申致しましたので、今後も町としてきちんと計画を実行していただきたいと思っております。今、コロナとの共存という重要な課題もありますが、町民一体の協働によるまちづくりというところが非常に重要な課題になっています。行政にすべてを任せるというのではなくて、皆様方と共に町民と手を結んで、今後ともよりよい基山町に向けて行動していただければと思います。

皆様、長期間にわたり熱心な御意見御審議をいただきありがとうございました。これをもちまして、第3回基山町総合計画審議会を閉会いたします。

(閉会)